

地域防災連続セミナー

～しなやかなまち福知山を目指して～

参加
無料



第2回のセミナーでは、台湾・花蓮地震の事例から、台湾の災害対応や避難所運営を元に、官民の力をどうつなぐかを考えます。災害対応において、行政と市民はどう連携できるのか。日本と台湾を比較しながら、災害時の連携の可能性を探ってみませんか。

第2回

台湾における官民連携の災害対応

～2024年花蓮地震を事例に～



日時 令和7年11月7日(金)18時～19時

場所 市民交流プラザふくちやま 4-1(4階)

定員 20名

講師：李勇 昕氏

京都大学情報学博士。京都大学防災研究所特定研究員、日本学術振興会・茨城大学特別研究員を経て、現在、立正大学人文科学研究所研究員。災害社会学、防災教育、台湾と日本の地域防災比較を専門とする。



第3回のセミナーでは、能登半島地震の避難所運営を担った現場の声から、地域で避難所を運営することについて理解を深めます。避難所は、命をつなぐだけでなく、暮らしを支える場でもあります。現場の声から災害時の避難所づくりの課題と工夫を考えてみませんか。

第3回

発災時における地域コミュニティの重要性

～能登半島地震における避難所運営と復興について～



日時 令和7年11月21日(金)18時～19時

場所 市民交流プラザふくちやま 4-1(4階)

定員 20名

講師：谷一 浩平氏

七尾市中島町出身。大阪大学人間科学部在学中に令和6年能登半島地震で被災。発災後は避難所運営ボランティアとして物資・人的支援のコーディネートを行うほか、小中高生の居場所支援を実施。大学卒業後は東京のコンサルティング会社に就職し、能登出身東京在住者のコミュニティ立ち上げに携わりながら、各種イベントへの登壇や能登復興への関心を維持・拡大する活動を行う



右記QRコードより申込フォーム
にてお申込みください。

締切：令和7年10月31日(金)



概要：<https://www.fukuchiyama.ac.jp/institutions/bosai/>

問合せ：地域防災研究センター TEL 0773-24-7100



福知山公立大学

※当日参加も可能です。直接会場へお越しください。

※手話通訳者、要約筆記者(難聴者だけでなく、高齢者、聴こえにくい人に内容を文字で伝える通訳)の派遣を希望される方は、2週間前までに上記QRコード内で申込みいただくか、地域防災研究センターまで直接ご連絡ください。

突然の自然災害や災害に対する準備と知識は、私たちの生活や地域の安全を守るために欠かせません。
当セミナーでは、各テーマごとに講師に専門家の先生をお招きし、幅広い視点からのアドバイスや情報を提供していただきます。
ご家族やご友人と一緒に、地域の安全を共に考える機会として、ぜひご参加ください！

第4回

NGOによる市民活動 とボランティア(仮)

令和7年

12月12日(金) 講師: 吉椿 雅道 氏
(CODE 海外災害援助市民センター・事務局長)



第5回

東日本大震災から 15年をふりかえる

令和7年

～チーム・オール弘前の原動力とその可能性～

12月19日(金) 講師: 李 永俊 氏
(弘前大学人文社会科学部・教授)



第6回

令和8年

1月9日(金)

草の根の震災記録は何を駆動させるのか

～阪神・淡路大震災の体験募集事業「30年目の手記」から考える～

講師: 高森 順子 氏

(情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター研究員)

第7回

令和8年

2月6日(金)

令和元年台風から生まれた 人形劇「やまのおおじゃくぬけ」

講師: 瀬尾 夏美 氏 (作家・画家)

第8回

令和8年

2月27日(金)

終わりの見えない災害、多重被災の実像

講師: 小林 秀行 氏

(明治大学情報コミュニケーション学部 准教授)

第9回

令和8年

3月22日(日)

能登半島地震から2年を振り返る

～福知山からの支援活動から～

地域防災研究センター・大門研究室



過去のセミナー
アーカイブ配信中！



今後のセミナーも配信していく予定です。是非ご視聴ください！

※見逃し配信を行わない講演もございます。予めご了承くださいませ。